

令和3年度「建設技術研修会」のご案内 (12月開講)

《講座についてご案内》

- 1) 下記の講座は(公社)日本建築士会連合会のCPD及び(一社)全国土木施工管理技士会連合会のCPDS(継続能力開発)認定研修として承認されています。
- 2) 受講料は一講座お一人1,000円(当所非会員事業所は3,000円)です。
- 3) 今年度はオンライン(ZOOM)による受講も可能となりました。
※第2回目の特別講座はオンライン非対応です。
- 4) 受講料は研修当日受付にてお支払いください。
※オンライン受講の方は、後日所属会社様へ請求させていただきます。
- 5) 研修開催日の1週間前までにお申込みください。
- 6) 日程(曜日等)をお間違えないよう、ご確認お願い致します。
- 7) 会場はコロナ対策を取らせていただき30名が定員となります。

《オンラインによる受講をご希望の方へ》

オンラインによる受講をご希望の方は下記概要をお確かめのうえお申込みください。

- 1) 受講者確認のため講義開始10分前には入室をし、カメラをオンにしてください。講義中は常に顔が見えるように設定してください。
- 2) 受講中はマイクをオフにしてください。ただし、こちらから呼びかけがあった際は応答できるようにしてください。
- 3) 受講される方は、1人1台の端末にて受講ください。
- 4) 受講中は、個人IDを受講者の名前(フルネーム)に変更してください。
- 5) オンラインによる受講をご希望の方は、通常のお申込み同様、別紙申込み用紙より、受講される方のメールアドレスを記載し、運転免許証等の顔写真付きの身分証明書を添付してお申込みください。アドレス宛にZOOM入室のURLをお送りします。
< FAX:0257-22-3570 メールアドレス: yamada@kashiwazakicci.or.jp >
- 6) 受講料は通常の受講料と同額です。
※後日、所属会社様宛へ請求させていただきます。振込手数料は各社ご負担願います。

今年度は『特別講座』として、東京電力HD(株)柏崎刈羽原子力発電所様より『柏崎刈羽原子力発電所の土木・建築設備(1)津波防潮堤』を12月16日に開講いたします。(1月に2回目を予定)当日は工科大学名誉教授 地濃茂雄 氏のオンライン参加を予定しています。(オンライン受講は対象外となりますのでご注意ください。)

< 12月の建設技術研修会 講座内容 >

①コンクリート技術 古代からウィズコロナ時代へ

数千年前から使われはじめたコンクリートは、いまや建設の基幹材料として君臨しています。これまでの技術的な歴史を分かりやすく紐解き、次いで直面するコロナ時代への取り組み方を探ります。

講師	新潟工科大学 名誉教授 地濃 茂雄 氏
日時	12月9日(木) 18:30~20:00
会場	柏崎商工会議所(5階)大研修室(オンラインによる参加も可能です)

【特別講座】

②柏崎刈羽原子力発電所の土木・建築設備(1)津波防潮堤

柏崎刈羽原子力発電所では、津波から発電所の重要設備を守るため、海拔15mの高さの防潮堤を設置しました。この防潮堤の設計の考え方や施工の特長についてご説明します。

講師	東京電力HD(株)柏崎刈羽原子力発電所 土木・建築担当 曾良岡 宏 氏
日時	12月16日(木) 18:30~20:00
会場	柏崎商工会議所(5階)大研修室 ※こちらの講義はオンラインによる受講はできません。

③鉄筋コンクリートを紐解く

物には長所も短所もあります。そこでコンクリートの大きな短所、つまり引張の弱さを鉄筋で補ったものが鉄筋コンクリート。その仕組みを解説したのち、鉄筋コンクリートの病気や寿命についても触れます。

講師	新潟工科大学 名誉教授 地濃 茂雄 氏 (講師オンライン参加)
日時	12月23日(木) 18:30~20:00
会場	柏崎商工会議所(5階)大研修室(オンラインによる参加も可能です)

※令和4年1月~3月に、計7講座の準備を進めています。

※講座内容が決まりしだい、ご案内させていただきます。

【お問合せ先】 柏崎商工会議所 担当：山田、田辺
〒945-0051 柏崎市東本町1-2-16
TEL:0257-22-3161 fax:0257-22-3570
mail: yamada@kashiwazakicci.or.jp